

今月の TOPICS I

～ 看護学校だより～新年度を迎えて～

(成増高等看護学校 校長 清水 那智子)

春の訪れは、三寒四温・・とは言いながら、今年の気候は、あまりにも気まぐれで、真冬から一気に夏へ、そして真夏から真冬へとジェットコースターのような変化には、付いて行くのが大変です。病院、施設でお過ごしのお年寄りにとっては、尚のこと、早く、爽やかな薫風の季節の到来をと期待します。

そのような中、当校では、3月13日に38回生の卒業式を、又、4月10日に41回生の入学式を挙行いたしました。内外ともに厳しい状況にもかかわらず、皆様方のご支援の下、こうして40年の歴史を重ねることが出来ましたことを、心より感謝いたしております。

38回生は、卒業した23名全員が国家試験にも合格し、前年度に引き続き国試合格100%を記録いたしました。

41回生は18名で、当校としては、始めて定員が割れました。近年、当校のような、2年課程の学校に進学して来る准看護師は、年々減少しています。

昨年、東京都下には13校の2年課程看護学校が存在しましたが、内、1校が今年閉校し、半数が定員割れを来たしています。これをどの様に受け止めるか、当校の大きな課題です。昨年、発足いたしました「東京都看護師2年課程学校協議会」での調査、情報をも参考にしながら、方向性を見出してゆきたいと思っています

現在、本部で「看護師等確保対策会議」と連動して「看護学校の在り方検討会」を立ち上げ、今後の対策を模索しています。法人として看護学校に期待するものは何か、それは、どの程度可能か・・看護学校の存在が、系列病院、施設のためにどの程度貢献しているか・・等を検討して、より良い学校にして行くべく努力して行きたいと思っています。多くの皆様に関心を持っていただき、アドバイスも頂きながら、模索してゆきたいと思っていますので、宜しく願いいたします。

又、5月24日より、3年生の半年に及ぶ各論実習が始まります。学生は、実習を重ねながら、自分の将来の方向性を見出してゆきます。臨床の場では、多くの先輩諸氏にご指導いただきますが、どうぞ、来年の新人職員を育てていると受け止めて、温かく、厳しくご指導下さいますよう、宜しく願いいたします。